

ICTの提供による社会の持続可能性と生物多様性への貢献

RFIDプラットフォーム「入店人数管理システム」

富士通グループのSDGsへの取り組み

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）は、先進国を含めた世界全体が2030年までに達成すべき共通の目標です。その目標達成に向けて、民間企業の技術やイノベーション力を積極的に役立てていくことが強く求められています。富士通グループは、かねてより、共創を通じて持続的に社会にインパクトを与える成果を生み出す、「ヒューマンセントリック・インテリジェント ソサエティ」の実現を目指して、テクノロジーを活用するとともに新たなイノベーションを創造してきました。この活動と、国際社会がSDGsの達成に向けて取り組む方向性は、一致していると認識しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/sdgs/>

持続可能な開発のための2030アジェンダ

「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals : SDGs)を中核とする「持続可能な開発のための2030」は、平成27(2015)年9月25日に、ニューヨーク・国連本部で開催された国連サミットで採択されました。

SDGs(Sustainable Development Goals)

2030年に向けて持続可能な開発に関する地球規模の優先課題などを明らかにした目標です。17の目標と169のターゲットで構成されています。ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals : MDGs）とは異なり、先進国を含む全ての国に適用される普遍性が最大の特徴です。

環境との関連

複雑に絡み合う社会・環境課題に対応していくためには、環境・経済・社会の3つの課題を総合的に取り組む必要があります。環境省では、17の目標のうち、気候変動、持続可能な消費と生産（循環型社会形成の取組等）等、少なくとも、12の目標が環境に関連しているとしています。

ICTによるSDGsへの貢献

富士通グループは、クラウドシステム、モバイルコンピューティング、電子政府など、様々なICTの提供を通じて、国内外のお客様とともに、SDGsへ貢献してまいります。



「環境貢献ソリューション」認定制度のご紹介

富士通は、富士通グループが提供するソリューション・サービスの導入によるGHG排出量の削減効果を定量評価し、削減効果が15%を上回る商品を「環境貢献ソリューション」として認定しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/sustainability-contribution-list/>



「入店人数管理システム」による業務の効率化と環境負荷の低減

- ・新型コロナの流行以来、流通業界では店舗内における三密回避の対策が必須となりましたが、従来の人の手によるカウントでは、店舗内人数をリアルタイムで把握することは難しく、正確性に欠けてしまいます。当システムは、クラウドを利用することで正確な店舗内人数の可視化と、蓄積データを活用し、ゲストの滞留時間を算出することができます。また、作業工数の削減につながり、CO₂削減に貢献します。

「環境貢献ソリューション」認定商品を拡大し、SDGsへ貢献します。

- ・「環境貢献ソリューション」の取り組みは、目標13：気候変動へのアクション（気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。）への対応として、推進しています。富士通グループは、「環境貢献ソリューション」の提供を拡大し、SDGsに貢献します。



RFIDプラットフォーム「入店人数管理システム」による業務の効率化と環境負荷の低減

システム概要

RFIDプラットフォーム「入店人数管理システム」を導入することで、コロナ禍での店舗開店に向けた三密回避を実現することができます。新型コロナウイルスの流行以来、流通業界では店舗内における三密回避の対策が必須となりましたが、従来の人の手によるカウントでは、店舗内人数をリアルタイムで把握することは難しく、正確性に欠けてしまいます。

当システムは、クラウドを利用することで正確な店舗内人数の可視化と、蓄積データを活用することでゲストの滞留時間を算出することができます。この対応により、作業工数の削減、人数カウント係の人員削減および店舗内の人数をコントロールすることが可能となります。また、作業工数の削減により、CO₂排出量の削減にも貢献します。

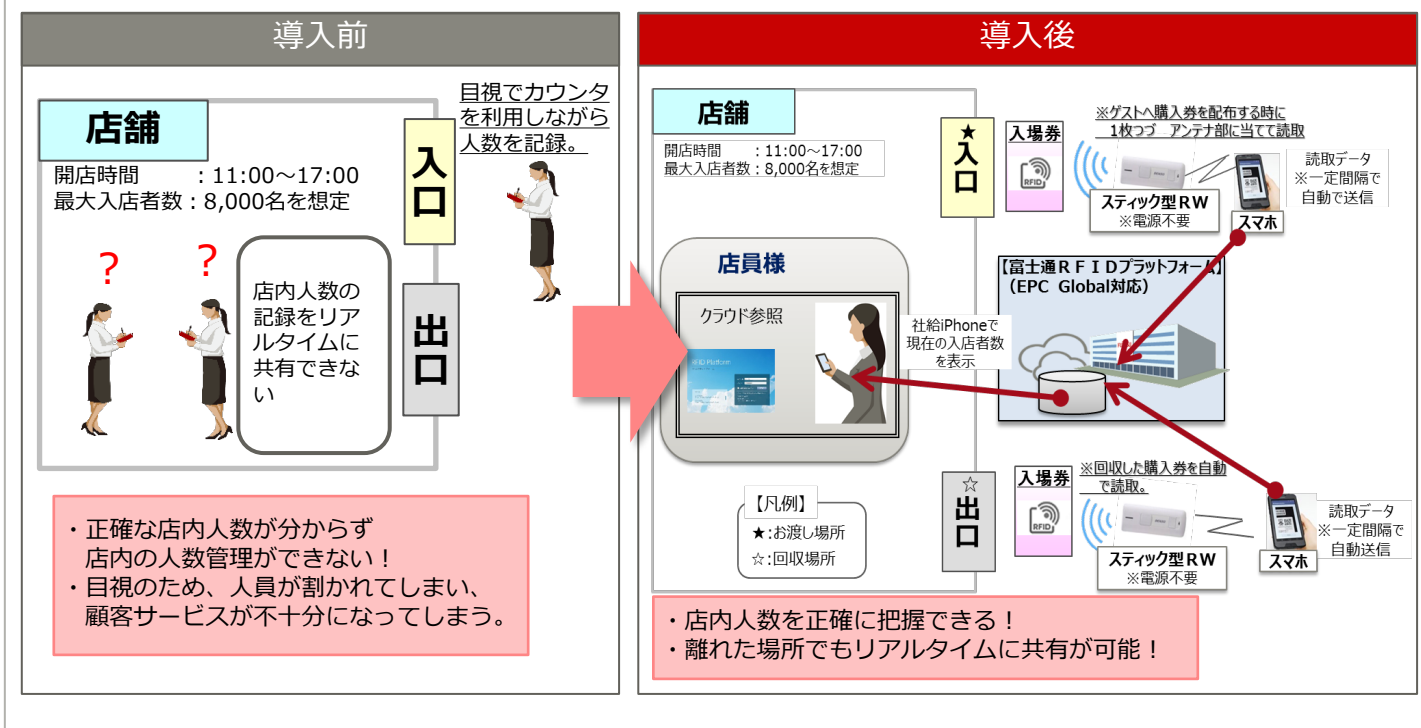
効果

- ・CO₂排出量の削減効果：約40% ※富士通フロンテック試算
- ・カウント作業時間の削減：
入店時のカウント漏れ防止、およびカウント作業の効率化
【導入前】1日あたり、1つの入り口に2人体制、（目視、およびカウンタでのチェック）
【導入後】1日あたり、1つの入り口に1人体制（RFID、クラウドを用いた数値化チェック）

※上記の効果は、現時点で富士通フロンテックが試算したものであり、お客さまの運用状況などにより結果が異なることを予めご承知おきください。

RFIDプラットフォーム入店人数管理システムの導入によって、何故適正な販売員の配置につながるのか？

お客様へ提供するサービスを低下させずに、入店人数を適切に把握することで当業務に要する販売員を減らし、他の適正な業務へ配置することができます。



お問い合わせ先

富士通フロンテック株式会社

営業本部 フロントビジネス営業統括部

電話でのお問い合わせ : 042-377-0445

Webからのお問い合わせ : <https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/contact/privacy-product.html>